

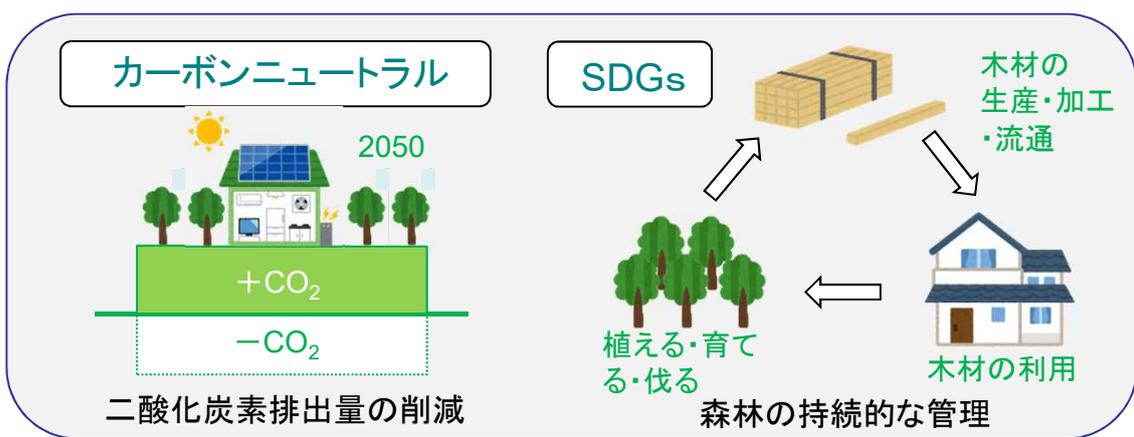
県産木材を活用した建築設計について

— 県立あすなろの郷セーフティネットA寮棟他新築工事 —

事業概要



どうして木材を利用するの？



○設計対象の建築物

県立あすなろの郷

セーフティネット寮棟(A寮～C寮)

・工期 令和5年9月～令和7年3月

・階数・構造 平屋・木造

・延べ面積 5,078.89㎡ セーフティネット寮棟+日中活動棟他



外観パース



内観パース(寮棟共有スペース)

県産木材の利用量

構造材、垂木、間柱



構造材 約753㎡

+

天井杉板張、巾木、ベンチ空調等



内装材 約41㎡



現在施工中の工事現場

木材利用量

約794㎡！！

※戸建住宅の約40戸分に相当



CO₂排出量の削減効果

○木造化・木質化の効果

鉄骨造(S造)

鉄筋コンクリート造(RC造)

木造

削減された放出量

CO₂放出量

CO₂放出量

CO₂貯蔵量



CO₂貯蔵 = 建物にCO₂が固定化され、大気中に放出されない

○構造別の比較

※「建築物に利用した木材の炭素貯蔵量の表示ガイドライン」林野庁作成
「炭素ストック、CO₂放出の観点から見た木造住宅建設の評価」岡崎泰男・大熊幹章、木材工業Vol53、No.4、1998
に基づき、同規模の建築物について構造別に算出

